



代表取締役社長

茅本 隆司

代表取締役会長

玉村 和己

当社グループの2017年度第2四半期報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、企業収益の改善や株高、雇用環境の改善を背景に緩やかに回復しました。

世界経済につきましては、米国では個人消費や設備投資が増加傾向にあり景気拡大が継続しました。アジア地域においては、中国では輸出の持ち直しや経済政策の効果により景気は緩やかな成長が続きました。タイやインドでも景気の回復

がみられました。

当社グループの主要な事業分野であります自動車関連は、国内販売では軽自動車は販売不振から回復基調にあり、登録車は新車投入効果等により堅調に推移したことから、2,482千台で前年同期比7.7%の増加となりました。完成車輸出は、2,311千台で前年同期比2.5%の増加となりました。国内の自動車生産台数は、4,671千台で前年同期比5.9%の増加となりました。

また、もう一方の主要な事業分野であります情報通信関連は、データセンター向けは堅調なもののパソコン向けが減少したことにより、HDD(ハードディスクドライブ)の受注は前年同期比で減少しました。

以上のような経営環境のもと、売上高は317,827百万円(前年同期比6.1%増)、営業利益は16,651百万円(前年同期比0.7%減)、経常利益は18,706百万円(前年同期比32.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は12,698百万円(前年同期比24.3%増)となりました。

当第2四半期中間配当金につきましては、1株につき11円とさせていただきます。なお、期末配当金につきましては、1株につき12円を見込んでおります。

株主の皆さまにおかれましては、今後も変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2017年12月